

事業名称	岡山県博物館協議会 30 周年記念事業			
実行委員会	岡山県博物館協議会			
中核館	岡山県立美術館			
	住所	〒700-0814 岡山県岡山市北区天神町 8-48		
	TEL	086-225-4799	FAX 086-224-0648	
	ホームページ	https://okayama-kenbi.info		
構成団体	岡山県博物館協議会に加盟する 86 館			
事業開始時点の課題分析	<p>本協議会は、平成 3 年に岡山県下の博物館施設が集い、相互連携をはかることにより地域文化の向上をめざして設立された。岡山県立美術館は会長館として事務局をおき、年 1 回の総会、有識者を招いての記念講演会、年 2 回の加盟館職員を対象とした実務研修会と情報共有のための会報を発行している。加盟館は全県下に広がり、さまざまな館種をそろえることから、本会のネットワークは災害時を含め、文化財の保護、文化振興に重要な役割を果たすものであり、会長館である当館はそれらを統括する立場にある。</p> <p>令和 3 年には設立 30 周年を迎え、さらなる活動の充実が求められるところであり、加盟館が増えたこと、さまざまな館種が集うこと、異動や世代交代による館員の入れ替わりを受け、同じ県下で活動しつつも互いことをよく知らずいたり、身近な専門知識を有する人材を有効に活用できていないのが課題である。</p>			
事業目的	<p>本事業は、本協議会設立 30 周年を記念し、加盟館の情報発信、加盟館相互の連携、交流事業を行うことにより、加盟館間の親交を深めるとともに、各地域の振興に役立て、広く県民に情報発信し、地域文化への理解と関心をうながすことを目的とする。</p>			
事業概要	<p>本事業では、次の 3 つの事業を行う。</p> <p>1 : 加盟館の活動紹介パネルを作成して展示し、県下にどのような施設がどのような活動をしているのかを広く一般に周知する。地域に所在する文化財について関心を促す。</p> <p>2 : パネル展示期間中を中心に、加盟館員が互いに他館へ出向き、講座やワークショップを行うことにより人的交流を促し、県下にあるさまざまな文化財について興味関心を深める。</p> <p>3 : 加盟館をめぐるスタンプラリーを行い、観光客や美術愛好者らに県内各地を周遊し、本県の多彩な文化を楽しんでもらうことにより、地域振興の一助とする。</p>			
実施項目 ・ 実施体系	<p>実施要項</p> <p>(1) 検討会議の開催</p> <p>(2) 要項の確定</p>	<p>1 パネル展実施</p> <p>(1) 原稿・画像の編集</p> <p>(2) 展示パネルの作成・展示</p> <p>2 講座・ワークショップ実施</p> <p>(1) 講師・会場・日程の調整</p> <p>(2) 実施</p> <p>3 スタンプラリー実施</p> <p>(1) 告知</p> <p>(2) 実施</p>		

実施後の 成果・効果等	<p>本事業の実施によって、加盟館員にとっては、加盟館同士が他館の活動を知ることにより、自館の活動のヒントを得る。本県の幅広い文化財について関心を持つことで、緊急時の相互協力の基礎とする。県下の専門職員が自館以外で活動することにより、人材活用の幅を広げる。互いに顔の見えるつながりを持つことによりネットワークの強化につながる。また、広く一般に対しては、県内各地に点在する文化施設を周遊することにより、本県の豊かな文化資産について興味や関心を深めてもらう。よって、本事業の実施により、協議会としての情報発信と協議会会員の相互連携により、県内の地域文化の一層の発展が期待出来る。なお、今年度はコロナ禍の影響で予定どおり実施が困難であったが、多くの方の参加をいただいた。</p>
----------------	--

【事業実績】

1 パネル展

パネル展は、県下86館のパネルを観覧し、一般美術愛好家や観光客に県下に点在する加盟館を巡ってもらうきっかけを提供し、岡山のさまざまな文化財に親しんでもらうとともに地域振興の一助となった。

	展示期間			会場
1	4月20日	～	5月5日	瀬戸内市立美術館
2	5月14日	～	5月16日	加子浦歴史文化館
4	6月25日	～	7月11日	和気町歴史民俗資料館
5	7月16日	～	8月1日	総社吉備路文化館
6	8月6日	～	8月22日	総社市まちかど郷土館
7	8月27日	～	9月12日	赤磐市山陽郷土資料館
8	9月14日	～	9月24日	赤磐市吉井郷土資料館
9	10月9日	～	10月17日	勝央美術文学館
10	10月22日	～	11月7日	岡山県立美術館
11	11月13日	～	11月28日	岡山天文博物館
12	12月3日	～	12月19日	岡崎嘉平太記念館
3	12月21日	～	12月28日	備前市立備前焼ミュージアム
13	1月5日	～	1月23日	高梁市歴史美術館
14	1月28日	～	2月13日	備前長船刀剣博物館
15	2月18日	～	3月6日	川崎医科大学現代医学教育博物館
16	3月11日	～	3月27日	岡山県立記録資料館

【感想】

「パネル展示は圧巻でした。」

「岡山内にこんなにたくさん（施設が）あるんですね。」「博物館があるとは知らなかった。」

「いろいろな種類の施設があって面白そうですね。行ってみたいです。」



2 講座・ワークショップ実施

講座・ワークショップ展は、県下14の会場（加盟館会場）において、派遣名簿登録職員に依頼し、出張講演または出張ワークショップを開催した。開催時期は、加盟館パネル展の開催館はその時期に同時開催を、その他の館は随時開催した。自館以外の幅広い文化に対する興味と感心を一層深めるとともに加盟館相互の交流促進が図れた。

【事例】1月15日開催「津山藩松平家の記録整備」講演会：当日は、県南部にお住まいの参加者が多く、津山の近世史を知る貴重な機会となった。講師の東氏からは、日常業務で研究されている愛山文庫についてその内容や構成、歴史的意義と津山地域の政治・文化の発展に大きな功績を残した藩主松平康哉について丁寧かつ詳しく説明された。講師が日頃疑問に感じたことを紹介し、その疑問をどのように

読み解いていったかを熱のこもった口調で講演されていたので、参加者一同講師の興奮に共感しながらしに引き込まれていたようである。

開催会場	開催日	区分	テーマ	講師所属	講師	
赤磐市吉井郷土資料館	6/26	土	WS	3000個の積み木で遊ぼう！	現代玩具館・オルゴール夢館 館長	橋爪宏治
岡山・吉兆庵美術館	7/24	土	WS	消しゴムハンコで篆刻体験をしよう！	倉敷考古館 学芸員	伴 祐子
総社吉備路文化館	7/24	土	WS	夏の吉備路で植物観察	倉敷市立自然史博物館	狩山俊悟
赤磐市山陽郷土資料館	7/31	土	講演	縄文の心と技-古縄文アートから現代縄文アートへ-	猪風来美術館 館長	猪風来
華鶴大塚美術館	8/1	日	WS	招き猫絵付け体験	招き猫美術館 学芸員	虫明比斗子
現代玩具館・オルゴール夢館	8/14	土	WS	古代オリエント体験in湯郷	岡山市立オリエント美術館 副主査学芸員	須藤寛史 西田早貴子
総社市まちかど郷土館	8/20	金	WS	そうじやでオリエント体験！一くさび文字でタグ作り	岡山市立オリエント美術館 副主査学芸員	須藤寛史
奈義町現代美術館	8/22	日	WS	和綴じ本づくり	岡山県立記録資料館 司書	山下香織 信久智砂恵
勝央美術文学館	10/23	土	講演	新見美術館のひみつ	新見美術館 館長	藤井茂樹
総社市まちかど郷土館	10/24	日	講演	江戸時代の旅事情	岡山県立博物館 学芸員	秋山 亮
岡山県立美術館	10/24	日	講演	サラリーマンが建てた『自分流美術館』 ～ 夭折・未完の画家たちを想う ～	かがみの近代美術館 館長	辻本高廣
	10/30	土	講演	忘れられた漆器-蒜山・郷原塗の世界	真庭市蒜山郷土博物館 館長	前原茂雄
	10/31	日	WS	丸薬作り・版木で作る薬袋	総社市まちかど郷土館 館長	浅野智英
招き猫美術館	10/31	日	WS	ゆめじねこハンコをつくってオリジナルノートバックをつくろう	夢二郷土美術館 学芸員	平松里美
岡山県立美術館	11/7	日	WS	どこでも昆虫採集	倉敷市立自然史博物館 主幹主幹(学芸員)	奥島雄一
岡山県立記録資料館	1/15	土	講演	津山藩松平家の記録整備	津山郷土博物館 学芸員	東万里子
勝央美術文学館	1/22	土	WS	今日、何する？	岡山県立美術館 主任学芸員	岡本裕子

【感想】

「楽しかった。」「また開催してほしい。」「藤井講師の講演は大変楽しかったです。講師の方の美術館のご努力も知れて大変感銘しました。」「ワークショップでは、大変楽しい体験をさせていただきました。色づくりのしくみが体験でき大変勉強になりました。」

3 スタンプラリー実施（実施要項）

1 趣旨	岡山県博物館協議会が本年度創立 30 周年という記念すべき年に、加盟 86 館が連携して、次のスタンプラリーを実施し、会員相互の一層の連絡・提携をはかり、以って、地域文化の向上に資する。
2 内容	(1) 実施期間 令和 3 年 7 月 1 日～12 月 31 日 (2) 実施方法 加盟館は、窓口・公民館・観光案内所などに備えている博物館めぐりスタンプラリー台紙を持ってきた来館者に、入館の際、窓口で岡博協作成の丸スタンプを押印する。 入館スタンプ 4 館目は、台紙と引き換えに賞品(オリジナルポストイット)を 1 個プレゼントする。 さらに、Wプレゼントへ応募の希望があれば、その台紙の郵便番号・住所・氏名・年齢の記載を確認して窓口で受理し、後日、台紙を事務局まで送付する。 事務局では応募者全員をまとめて抽選し、当選者(30 名)には工芸品を送付する。
3 共催	岡山県、(公財)岡山県郷土文化財団、(公社)岡山県観光連盟
4 後援	岡山県教育委員会、(公社)岡山県文化連盟
5 協力	新見美術館

【感想】

「とても面白い企画だと思います。」「来場する楽しみも少し増えました。」「今まで知らなかった博物館を沢山見れて有意義だった。」「あまり遠くに美術館（県北）に行く機会がないのですが、今日のようなイベントはいい機会となりました。」「館それぞれに特色があって見ごたえがありました。」「スタンプラリーをきっかけにいろいろ行けました。」